

大志を育む



平成28年10月31日
(教職員向け)
教育委員会だより
No. 8

発行：北広島市教育委員会

SSW（スクールソーシャルワーカー）の役割と活用

北広島市教育委員会 特別支援教育アドバイザー 館岡道宏

【SSW とは……】

近年、いじめや不登校、暴力行為などに加え、児童虐待や貧困など、学校だけでは解決が困難な問題が多く発生しており、こうした問題に速やかに対応し、児童生徒を健やかに育てていくためには、学校の教育力を十分に発揮できるような体制を構築していくことが大切です。

こうしたことから、問題を抱える児童生徒の置かれた環境への働きかけや、関係機関等との連携・調整等の役割を果たすのがスクールソーシャルワーカーです。北海道教育委員会では、平成20年度から「スクールソーシャルワーカー活用事業」を実施し、教育と福祉に関して専門的な知識や経験を有する者をスクールソーシャルワーカーとして、道内の市町村に配置するとともに、道教委にも配置してきたところです。

北広島市教育委員会では、学校教育課の館岡特別支援教育アドバイザーとみらい塾の坂田相談員の2名がその任を兼務しております。主に特別支援教育や生活状況などの福祉に関連する事案については館岡が、不登校に関連する事案については坂田が担当しております。

【SSW 対応ケース】

SSWは次のような場合に、いろいろな機関と連携しながら、学校と一緒に問題の解消を図ります。

【家庭で…】

- 友だち関係に困っている
- 生活リズムが乱れている
- 親子の関係が安定していない
- 非常に落ち着きがない
- 勉強に集中できない
- 児童虐待、生活保護など

【学校で…】

- 友人とのトラブルが多い
- 登校を渋る、不登校になる
- 授業に集中できない
- クラスや集団に馴染めない
- いじめがある
- 教職員等との関係が悪い

【SSW 活用方法】

各学校で、SSWを活用していただくためには、次のような流れでお願いいたします。

- ① 学校はSSWへの連絡担当者の設定をお願いします。
(管理職・生徒指導担当・特別支援コーディネーター等)
↓
- ② 担当者から、問題を抱える児童生徒の状況などを市教委へ連絡し、SSWの派遣を要請します。
↓
- ③ 相談内容の近況や基本的な情報をお伺いします。
↓
- ④ 授業観察や保護者面談を実施します。ケースによって多様な対応をします。(関係機関との連携・ケース会議等)

関係機関とは…

- ・子ども発達支援センター
- ・保健福祉部児童家庭課
- ・児童相談所
- ・警察
- ・適応指導教室みらい塾
- ・教育支援委員会 他



西の里小学校の特色ある取組

本校教育活動のキーワード

「バランス」

○今年度の重点「創意を生かして、知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進し、一人ひとりの子ども達が、楽しく・豊かに学ぶことのできる学校を創る」

当たり前のことを、当たり前にしちんとできる子を育てるため、教育活動のバランスを重視し、学校全体で小さな工夫を積み上げています。その成果を生かしながら「当たり前の質」を徐々に高めることができるよう、協力・協働の取り組みを進めています。

◇ 確かな学力の育成

(1) 落ち着いて「聞く」態度を育てる

学校改善プランにも取り上げ、学校全体で意識しながら取り組んでいることの一つに「落ち着いた態度で話を聞く力の育成」があります。児童個々の学習効果を高めるために、どうしても身につけさせたい力です。きちんと聞いているかを見極めるのは難しいことです。そのため、本校の先生方が特に重視しているのは、適切な返事や反応です。話している人の方を向いて聞き、自然に返事ができる子の育成をめざし、努力しています。



(2) 家庭と連携して学ぶ習慣を育てる

毎年、1学期始業式に「西の里小学校のしおり」を発行し、学校の様々な情報を発信しています。その内容の一つに「家庭学習の手引き」を取り入れました。保護者用が1ページ、低・中・高学年用が各1ページとなっており、家庭学習の意義や、国語・算数・その他についての望ましい学習方法・時間などを記載しています。

各家庭の協力を得て、主体的に学ぶ習慣づくりが進んでいます。

冊27 西の里小学校のしおり



○学校教育目標 西の里小学校
・自ら学ぶ意欲、主体的な学習態度を身に付けること
・自然を愛し、自然を思いやる心を育てる
・自らを認め、自然を思いやる心を育てる
・自らを認め、自然を思いやる心を育てる

◇ 豊かな心の育成

(1) ふれ合いや目的を意識した自主活動の推進

右の写真は、児童会が「あいさつができる人になりたい」という目標を持って取り組んでいる「あいさつ運動プラス」です。「今日はあいさつをしてジャンケンをしてください!」「今日はあいさつとハイタッチ!」と声をかけ、楽しみながら活動しています。地域でも「あいさつが立派」と評価をいただいています。



(2) 小・中・高一貫ふるさとキャリア教育の推進

昨年より道の指定を受け、西の里中学校・北広島西高校と共に、12年間を見通した体系的なキャリア教育に取り組んでいます。すでに実践している小・中の「きたひろ夢ノート」に加え、西高校でも独自のキャリアノートを作成しました。本校でも今年度1～3年生用の「さとしょうゆめノート」を作成しました。中・高の先生方と共に、子ども達の夢を育てています。



名前			
西の里小学校	1ねん	くみ	ぼん
	2年	組	番
	3年	組	番

◇ 健やかな身体の育成

西の里小学校では、3年間体育専科の配置を受け体育授業の改善に取り組み、成果を発信してきました。授業での運動量確保など学校全体で取り組みを進め、子ども達の体力も大きく向上しています。専科の配置は今年度で終了ですが、この間の具体的実践の数々は、今後に向けての大きな財産となっています。
＜専用スロープのある学校!＞学校の裏に、立派な坂があります。まさに地の利です。のびのびとスキー授業をしています。

